

平成 30 年 1 月 29 日

(臨床研究に関する公開情報)

国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院では、より良い診断・治療を目標として、さまざまな臨床研究を行なっております。今回、下記の臨床研究を実施いたしますので、研究の計画及びその方法についてお知りになりたい場合、研究において検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合などがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、研究のために患者さまの負担や危険が増えることはございません。また、ご了解できなかった場合、患者さまにとって不利益になることは一切ございません。

[研究課題名] ロボット支援前立腺全摘術の導入による治療成績の変化の検討

[研究責任者] 小林一樹 泌尿器科部長

[研究の概要]

上ロボット支援の前立腺全摘は、低侵襲で機能温存の優れているため世界で急速に広まっています。現在普及しているロボットは、インテュイティブサージカル社のダビンチシステムのみである。日本では 200 台以上のダビンチが導入されている。横須賀共済病院では 2017 年 3 月に導入されています。前立腺全摘は手術中の出血や癌制御の効果に加えて、尿失禁や勃起機能等の機能温存が重要である。今回の研究により手術時間、出血量、周術期合併症、癌制御（切除断端陽性率、PSA 再発率及び画像による再発率）、機能温存（尿失禁の有無、勃起機能の評価）、患者満足度（QOL 調査）、ラーニングカーブについて評価し、ロボット支援の前立腺全摘の有用性について検討します。

研究の方法]

●対象となる患者さん

当院で 2017 年 5 月から 2019 年 12 月の間にロボット支援前立腺全摘を施行された方が対象です。

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：性別、年齢、レントゲン、CT、術中所見、治療経過、患者満足度（QOL 調査）結果

[個人情報取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さまを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 泌尿器科 田部井正
電話 046-822-2710 (代表) FAX 046-822-9139

*お問い合わせ内容により、こちらから改めてご連絡をさせて頂くことをご了承ください。